豊水っ子だより

第６号

令和元年9月25日
豊水小学校

笑顔！　いい声！　いい心！　いっぱいの学校!!

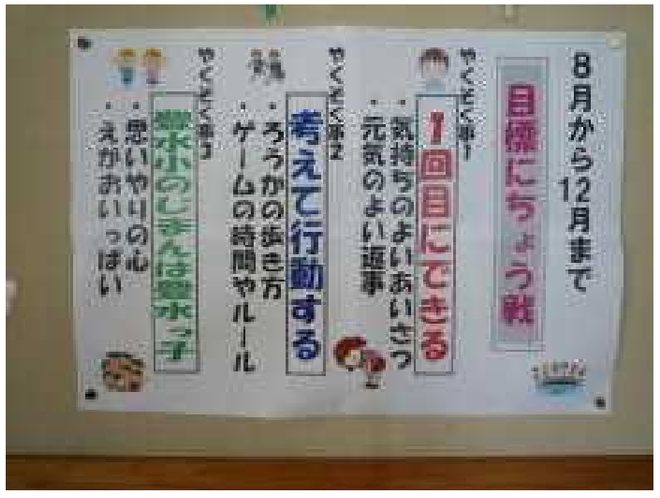
キーワードは「挑戦」です！！

長かった夏休みも終わり、８月２７日から前期後半がスタートしました。夏休み期間中、命に関わるような大きな事故等はなく過ごすことができました。保護者、地域の皆様のご指導と見守り等のおかげだと、心から感謝いたしております。子供たちの命を守るために、引き続きよろしくお願いします。

さて、前期後半のスタートにあたり、児童に話したことは、「挑戦」ということです。学習・生活・健康面で伸びていくためには、自分にあった目標を持ち、その実現のために努力すること、つまり、「挑戦する心と態度」が大切だと考えているからです。そこで、３つの事について話をしました。

1　１回目にできるようになる～気持ちのよい挨拶と元気のよい返事を１回目にできるようになること
2　考えて行動する～廊下は静かに歩くこととゲームの時間やルールを考えて、行動すること
3　豊水小の自慢は豊水っ子～思いやりの心と笑顔いっぱいの学校にして、豊水小の自慢は、「私たちです。」と胸をはっていえるようになること

４月に実施した、全国学力学習状況調査によると、「難しい事でも、失敗を恐れないで挑戦していますか」という質問項目で、やや全国平均を下回っていました。児童の力を伸ばすためにも、「挑戦する心と態度」を育てることは欠かすことができません。注意するばかりでなく、しっかりと頑張りや良い所は「認め・ほめ・励まし」ながら、指導を行っていきますので、どうかよろしくお願いいたします。



玄関正面に掲示しています

敬老会が開催されました

９月１６日、本校の体育館で、感謝と長寿を祝して豊水校区敬老会が開催されました。今年度の敬老対象者（７５歳以上）の方は２５４名、米寿の方は９名でした。また、金婚夫婦２組、百歳以上の方は１名ということでした。当日は、６名の児童の作文発表もさせていただきました。これまでの思い出や、登下校で温かい言葉をかけてもらってうれしかった事など、おじいちゃん・おばあちゃんへの感謝の気持ちといつまでも元気に過ごしてほしい気持ちを発表することができました。運動会や昔あそび、花の苗植え等でご支援をいただいておりますことに、心からお礼を申し上げます。今後も、学校・家庭・地域と連携を図りながら、豊水小学校の伝統を築いてまりますので、どうかよろしくお願いいたします。

「出張先生」で学んだことは・・・

９月１９日、玉名青年会議所主催による地域教育事業「出張先生」が本校の５、６年生の子どもたちを対象に行われました。この「出張先生」とは、生まれ育った故郷で働き、生活していくことの大切さと、将来大人になって働くことの意味や楽しさを、地域で活躍されている方と連携しながら、職業体験を通して発信する事業です。今回は横島町でミニトマト農家をされている前田睦先生を講師としてお招きし、講話と体験学習を通して「仕事のやりがい」「地元での関わり」について学ぶことができました。ミニトマトを育てる作業工程や玉名市の農業などについて、クイズや軽快なトークを交えながら楽しく学ぶ姿が見られました。体験学習ではブロッコリーの苗を一人一鉢植え、「家の人に頼らず、自分一人のお世話で育てるように」というアドバイスをいただきました。大きく育つのか、枯らしてしまうのか、子どもたち一人一人の責任が問われることで、農業という仕事のすばらしさを感じ取ることができるものだと思います。子どもたちそれぞれが自分の将来について考えられるきっかけになった時間であったと思います。ちなみに５，６年生２３名中、「自分の夢を持っている、将来つきたい仕事がある」と答えた児童は約半数でした。めまぐるしく変化している社会の中で、子どもたちが将来どんな仕事をしているか、どういう生き方をしているのか・・・今から楽しみです。